

あいさつ運動の好事例

早島町立早島小学校

(児童数787名 教職員数60名)

“一人”から始まる『あいさつの伝統』 ～学校・家庭・地域が連携して～

アピールポイント

“日常から取り組む”あいさつ運動
“自分から参加する”あいさつ運動
友達同士で“誘い合う”あいさつ運動
児童、教職員、保護者、地域の方と“共に
創り上げる”あいさつ運動

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

何事にも『自分から』主体的に取り組む児童の育成を目指している。

昨年度より生活委員会を中心に、児童自ら「伝統を創りたい!」との思いから、毎日あいさつ運動を実施している。今年度は、6年生も自主的にあいさつ運動に取り組み、毎朝、児童がさわやかなあいさつで全校生徒を迎えている。

■活動内容

「あいさつの伝統を創りたい!」と6年生や生活委員会の児童たちの提案で、行事としてではなく、“日常”のあいさつ運動に取り組んでいる。

6年児童や生活委員会の児童だけではなく、全校児童が自主的に参加している。また、「友達と一緒にあいさつをすると楽しい」「気持ちがいい」と参加した児童が友達を誘い、一緒に取り組む姿が見られる。

「いつでも・どこでも・誰にでも」「笑顔で」「相手の目を見て」「大きな声で」「まず自分から」のあいさつ5つ星を合言葉に、毎月10日・25日には、保護者や地域の方、教育委員会も参加して一緒に取り組んでいる。

■取組の参加メンバー

児童、教職員、保護者、地域の方、教育委員会

■成果・効果

自分たちの活動として取り組んだことであいさつへの意欲が高まった。6年生・生活委員会の児童の一生懸命な姿に全校児童の自主的な参加へとつながるなど、あいさつの輪が広がっている。